

予告 墨伝う思い — 書を通して知る文人・坪内逍遙

●会期 1期 12月12日(土) ~ 2021.1月11日(月祝)

2期 2021.1月20日(水) ~ 3月7日(日)

会期中の休館日 12月14日、21日、28日~1月4日、25日
2月1日、8日、15日、22日、3月1日

●会場 企画展示室

観覧無料



文芸、演劇、教育などの多分野で功績を残した市出身の偉人・坪内逍遙は、多くの書画を手がけました。この展覧会では早稲田大学と美濃加茂市民ミュージアムで所蔵する逍遙の書、書簡などを紹介します。また、書を通じた同時代の文人との交流にも焦点をあて、逍遙の文人気質と枯淡の世界観を探ります。

早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業
坪内逍遙書軸

楽しくなる古文書

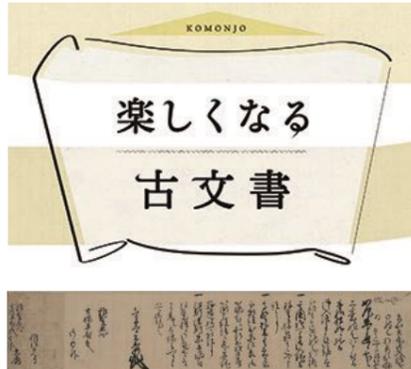
4月に予定していた展覧会を日程変更して開催します。

●会期 12月12日(土) ~ 2021.1月24日(日)

会期中の休館日 12月14日、21日、28日~1月4日、12日、18日

●会場 美術工芸展示室

●観覧料 200円
かるちすくらぶ会員、及び高校生以下は無料



みのかも文化の森 2020年9/15発行

森の観察日記 48

アサギマダラ (タテハチョウ科)
比較的長距離を旅するチョウとして知られるアサギマダラ。秋に文化の森周辺でも観ることができます。写真はまゆの家の庭のツワブキの蜜を吸っているところ。
(2019年11月1日撮影)



BUNKANOMORI EXHIBITION !

現代美術レジデンスプログラム

林 武史
石の記憶、泥の声

●会期 9月19日(土) ~ 10月25日(日)

会期中の休館日 9月23日、28日、10月5日、12日、19日

●会場 企画展示室・美術工芸展示室

●観覧料 無料

水田一南有馬
(撮影 山本紉)



12/6回 アートな1日講座
13:00~16:00 高島純さんと
クリスマスペーパークラフト

絵本作家の高島純さんのイラストを使ったクリスマスクラフトの講座です。親子でも、お一人でもご友人とでもご参加いただけます。事前申し込み【10月24日(土)-11月17日(火)】

- 会場 エントランスホール
- 参加料 500円
- 定員 10組
- 持ち物 のり、はさみ

Instagram はじめました!

展覧会情報や季節の催しもの、森の風景などさまざまな情報を投稿しています。ぜひご覧ください。



「七夕かざり」の様子



「子どもたちの手紙からみる、戦争と暮らし展」会場の様子

Cafe ミエル
Cristmas Lunch

12/1(火)~25(金)
11:30~14:00



森のあったかシチュー

ポークシチュー、エビベーコン巻き、サラダ盛り合わせ
スープ・パン or ライス・デザート

¥1,200 (税込み) *ドリンクプラス ¥150

みのかも文化の森
Follow Me!
Instagram はじめました!
minokamo_bunkanomori_official



森の中にある彫刻作品の紹介
[水のシェルター SHIBA HOUSE]
篠原猛史 (しのはらたけし)

1988年から10年続いた「美濃加茂彫刻シンポジウム」を通じて当市は、この地で制作された彫刻を多く見るのできる「清流と彫刻のまち」になりました。開館20周年にあたり、現代日本の彫刻界を代表する岐阜県出身の作家・林武史(1956年~)を紹介します。林は石を素材として、その土地に太古から息づく遺跡や日本の暮らしの原風景を彷彿とさせる彫刻を制作し続けています。2000年以降は土や泥を使い、山や田をモチーフとする「彫刻」も手がけています。本展は、木曽川の石と泥土を用いた作品《水田—美濃加茂》を中心に、この地の風土や自然のイメージを巡る新作を発表します。森ではワークショップ作品「月に吠える」や、昨年度に寄贈を受けた野外彫刻《舞の所作》などの石彫を展示します。意識の底に眠る自然との交わりの記憶を目覚めさせる、林の作品に宿る土着の精神は、地域の歴史を掘り起こし、五感を刺激して新たな文化の創造を目指す地域博物館としての当館の理想像に重なります。石の記憶をたどり、泥の声を聞くように、五感を澄ませて林武史の世界をお楽しみ下さい。

主催：美濃加茂市民ミュージアム+アートボランティア
協力：西濃建設株式会社 助成：公益財団法人せきしん地域振興協力基金

forum & event	●日時	●会場	●内容
ワークショップ 山を作る	9月19日(土) ①10:00-11:30 ②15:00-17:00 雨天の場合は 9月20日に延期	ひのき広場	「山を作る」では日干しレンガを積み上げて大きな山を作り、「月に吠える」ではみんなで作った山の上に登って、月に吠えるイベントを行います。大人も子供も参加できます。泥遊びのできる服装でお出かけください。 ■申し込み方法：はがき、ご来館、文化の森HP講座申し込み専用フォームにて、講座名、参加希望日と時間(①か②)と氏名、住所、電話番号をご記入の上、みのかも文化の森まで開催の前日までにお申し込みください。電話申込みも可能です。FAXによる受付は行いません。応募者多数の場合は抽選となります。定員に余裕がある場合、当日申し込みも可能です。みのかも文化の森までお問合せ下さい。 ■定員：各回30名 ■参加料：無料 ■講師：林武史氏
ワークショップ 月に吠える +アーティストトーク	10月3日(土) 18:00-20:00	ひのき広場	■申し込み方法：はがき、ご来館、文化の森HP講座申し込み専用フォームにて、講座名、参加希望日と時間(①か②)と氏名、住所、電話番号をご記入の上、みのかも文化の森まで開催の前日までにお申し込みください。電話申込みも可能です。FAXによる受付は行いません。応募者多数の場合は抽選となります。定員に余裕がある場合、当日申し込みも可能です。みのかも文化の森までお問合せ下さい。 ■定員：各回30名 ■参加料：無料 ■講師：林武史氏
林武史 ミュージアムトーク	10月3日(土) 14:00-15:00	企画展示室	作家が展示室から森の中を回りながら、今回の滞在做りや展示作品についてお話しします。 ■会場：企画展示室 ■参加料：無料 ■講師：林武史氏
バスツアー 林武史のアトリエ見学	10月10日(土) 13:00-16:30	岐阜県白川町	岐阜県白川町にある林武史のアトリエを見学するバスツアーです。石の彫刻が作られる制作現場をご見学いただけます。 ■定員：10名 ■事前申し込み【8/18(火)~9/13(日)】 ■参加料：100円(保険代) ■集合場所：みのかも文化の森 エントランスホール

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

●ご利用のご案内
開館時間 9:00~17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00まで)
休館日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館) 年末年始

●9・10・11・12月の休館日
9月14日、23日、28日 10月5日、12日、19日、26日
11月2日、9日、16日、24日、30日 12月7日、14日、21日、28日~1月4日

●交通
鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由 特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自 動 車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

●あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車(約8分)、「文化の森」下車(12/31~1/2は運休) 文化の森・公園線(平日休日共通ダイヤ・関係分のみ)

行き	乗り
美濃太田駅北口発	文化の森着
9:59	10:06
11:35	11:42
14:32	14:39
16:20	16:27
文化の森発	美濃太田駅北口着
10:25	10:34
12:01	12:10
14:58	15:07
16:46	16:55

運賃 / 一般 100円 中学生以下 無料
※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください
http://ai-ai-bus.com/

※10月1日より時刻改正します。



みのかも文化の森 20年 そして、これから展

●会期 9月26日(土)～10月25日(日)

●会期中の休館日 9月28日、10月5日、12日、19日

●会場 みのかも文化の森・館内

●観覧料 無料

美濃加茂市民ミュージアムと美濃加茂市教育センターの複合施設として2000年10月に開館したみのかも文化の森。これまで20年間にどのような活動をしてきたのか、その歩みを振り返ります。

毎年開催してきた企画展のチラシや年に4回程度刊行してきたミュージアムニュースをすべてご紹介し、あわせて展示図録やふるさとファイルなど、調査研究の成果を集めた冊子類も展示します。また学校の授業で来館し「文森学習」をした小中学生からの手紙や、教育センターの活動を紹介します。

そしてこの「そして、これから展」の展示は展示室から飛び出し、文化の森の館内のいろいろな場所で展示をする予定です。



フォレストくらぶ会員による

文化の森の20サイ!! おすすめスポットご紹介

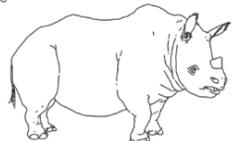
●会期 9月26日(土)～10月25日(日) 9:00-17:00

●会期中の休館日 9月28日、10月5日、12日、19日

●会場 :みのかも文化の森・常設展示室

●観覧料: 無料

博物館の活動により親しみ深い活動を行う、市内小中学生を対象とした会員制の講座がフォレストくらぶです。くらぶの子どもたちのおススメスポットを紹介。館内に20匹のカニサイ(20サイ)が登場!のんびり文化の森を散策しながらカニサイを探してください。



子どもたちが思い思いに色を塗ったカニサイたち。どんな色(もよう)のカニサイに出会えるかな?楽しみにしていてくださいね。

～20サイができるまで～



選んだ場所を写真に撮りました。



文化の森の地図を手に、館長や学芸員の案内で館内を回り、一人一人のお気に入りの場所(おすすめスポット)を探しました。



撮った写真を見ながら、おすすめスポットに選んだ場所をイメージしてカニサイに色を塗りました。

文化の森 おさんぽツアー

新しくなった常設展示室のテーマごとの解説です。ご参加の方には、文化の森グッズを差し上げます。(2回以上ご参加のかたでもお一人様おひとつ)★は、「地域探訪ツアー」とも関連します。合わせてのご参加がオススメ!

<p>1 「道具と暮らし」</p> <p>●とき 10月2日(金) 10:30-11:30</p> <p>●ところ みのかも文化の森・常設展示室他</p> <p>●対象 どなたでも ●定員 30名程度</p> <p>●内容 ちょっとむかしの思い出深い道具や手仕事の名残、人々の暮らしを感じてみましょう。</p>	<p>2 「歴史にさわる」</p> <p>●とき 10月2日(金) 15:00-16:00</p> <p>●ところ みのかも文化の森・常設展示室他</p> <p>●対象 どなたでも ●定員 30名程度</p> <p>●内容 文化の森の足元に広がる「尾崎遺跡」。遺跡や出土品を手がかりにゆっくりと歴史をさわり、感じてみましょう。</p>
<p>3 「人と川」</p> <p>●とき 10月3日(土) 11:00-12:00 ★</p> <p>●ところ みのかも文化の森・常設展示室他</p> <p>●対象 どなたでも ●定員 30名程度</p> <p>●内容 木曾川沿いにある大地と人々の歴史を探っていきます。</p>	<p>4 「森の生き物」</p> <p>●とき 10月3日(土) 15:00-16:00</p> <p>●ところ みのかも文化の森・常設展示室他</p> <p>●対象 どなたでも ●定員 30名程度</p> <p>●内容 この地域の植物や生き物を観たり、探したり、触れたりします。</p>
<p>5 「書くひと・つくるひと」</p> <p>●とき 10月4日(日) 14:00-15:00</p> <p>●ところ みのかも文化の森・常設展示室他</p> <p>●対象 どなたでも ●定員 30名程度</p> <p>●内容 美濃加茂市出身の偉人を紹介します。作家がここで作った野外彫刻も鑑賞します。</p>	<p>6 「人といのり」</p> <p>●とき 10月4日(日) 18:00-19:00 ★</p> <p>●ところ みのかも文化の森・常設展示室他</p> <p>●対象 どなたでも ●定員 30名程度</p> <p>●内容 美濃加茂の石仏や道標から当時の人々の願いや思いを感じましょう。</p>

①から⑥まですべてのツアーは無料です。事前申し込みは10月1日(木)までになります。

地域探訪ツアー

文化の森で集まり展示を見学した後、現地へ移動します。(現地解散)

展示室を飛び出して、市内のいろいろな場所へ出かけて、地域にある歴史、文化にふれるツアーです。「おさんぽツアー」と合わせてのご参加がオススメ!

「木曾川沿いの大地と歴史」

●とき 10月17日(土)

13:00-15:30

●ところ みのかも文化の森・化石林公園ほか

●対象 一般 ●定員 20名

●内容 御門町の太田橋周辺の木曾川河畔は、今から1900万年前の化石が多く見つかる場所です。また、明治時代以降の渡船場の跡やライン下り乗船場なども残っています。木曾川をめぐるいろんな歴史を散策します。



「人々のいのり」

●とき 10月18日(日)

13:00-15:30

●ところ みのかも文化の森・三和町内

●対象 一般 ●定員 20名

●内容 昔から地域の心のよりどころであり、道しるべであった石仏や道標。今回は三和町を中心めぐります。古くからある道をたどりながら、歴史を想像し人々の願いや思いを感じましょう。



地域探訪ツアーは無料です。事前申し込みは10月11日(日)までになります。

20周年記念講座

「木ーほるンダー」

とき 10月4日(日) 10:00-12:00

ところ みのかも文化の森・工芸室

内容 文化の森の木を使って、20周年の記念のキーホルダーを作ります。

対象 どなたでも 定員 20名

参加料 100円

持ち物 なし

事前申し込み
9月13日まで

可茂森林組合による講座

「みんなでつくろう！森の散歩道」

文化の森開館20周年を記念し、敷地内の散歩道をみんなで整備します。

とき 10月3日(土) 9:00-11:00

ところ みのかも文化の森

内容 市内の森林整備にて生じた竹をチップ化したものを敷地内森林エリアの散歩道に敷くワークショップを開催します。

対象 どなたでも(中学生以下は保護者同伴)

定員 20人程度

参加料 無料

持ち物 作業のできる服装

その他 雨天決行

事前申し込み
9月25日まで

「生木を削るグリーンウッドワーク体験
—文化の森の椅子づくり」

とき 10月3日(土) 13:00-15:00

ところ みのかも文化の森・ひのき広場

内容 自分の手で丸太を割り、刃物で削って椅子を作ります。伐ったばかりの生の木は瑞々しくて削り心地が良く、削る作業に夢中になってしまいます。木の香りも感じられてとても気持ちが良いですよ。文化の森でみんなが使うための椅子を一緒に作りましょう。

定員 6組

参加料 無料

持ち物 なし

その他 小雨決行



事前申し込み
9月25日まで

文化の森 手づくり市

文化の森の講座から生まれたサークルのみなさんが、自分たちの作品の展示や販売を行います。活動の成果をぜひご覧ください。

とき 10月17日(土) 10:00-15:00

ところ エントランスホール

出展者のみなさん(予定)

- ・和み会
- ・陶芸サークル尾崎窯
- ・陶芸サークルあじさい
- ・竹サークル



手づくり市の様子

サイエンスカフェ

「この20年間の植物調査を振り返って」

とき 10月24日(土) 14:00-15:30

ところ みのかも文化の森・研修室

内容 文化の森開館前から、美濃加茂の周辺の植物などを調査してきた、自然史研究会の植物担当のお二人に登場していただき、この20年間の植物を取り巻く環境の変化や植生の変化などについて対談していただきます。

対象 高校生以上

定員 20名(定員になり次第締切)

参加料 600円

事前申し込み
10月17日まで

自然探検発見わくわく 特別企画

「秋のステンドグラスづくり」

とき 11月15日(日) 13:30-15:30

ところ みのかも文化の森・工芸室

内容 秋になると色が違って葉っぱが落ちるよ。落ち葉を拾って自分だけのステンドグラスを作っちゃおう！

対象 小中学生

定員 20名

参加料 200円

持ち物 なし

事前申し込み
10月1日から
10月25日まで

【事前申し込み】

事前申し込みは、はがき、WEBメール、直接のご来館のいずれかの方法でお申し込みください。はがき、WEBメールの場合には以下の内容を書いてください。

①氏名、②年齢、③住所、④電話番号、⑤参加希望講座名、⑥参加人数
*応募多数の場合には、抽選となります。(一部先着順の講座があります。)
お問い合わせは 文化の森まで TEL 0574-28-1110



みのかも文化の森 新しい展示室に向けて

みのかも文化の森の生まれるきっかけは、昭和55年に『美濃加茂市史』が刊行されて3年経ってからでした。『美濃加茂市史』の編纂の際にも多くの資料が集められましたが、その後、先人たちが使っていた暮らしにかかわる道具、すなわち民俗資料についての調査が始められました。その民俗資料を保存して展示する資料館の構想が持ち上がったことが最初のタネでした。様々な検討ののち、博物館と教育センターを同じ施設として建設する案が出され、全国どこをみても、例のない複合施設の案が出ました。

開館して20年の間、地域にある様々な文化的なことについて、地域の方々の協力をえながら、時には地域の方々と一緒に調べたり集めたりしてきました。その蓄積は、毎年開催してきた企画展という形になり、また毎日学校の授業として博物館に勉強にくる小中学生の「文森学習」となりました。

同時に、ホームページで公開している博物館の歴史、民俗、美術、自然史など収蔵している資料や図書資料を検索できるデータベースも少しずつ構築してきました。また美濃加茂のことをキーワードで調べることのできる「美濃加茂事典」も少しずつ項目を増やしつつ、現在も、そしてこれからも成長していきます。

博物館の持っている様々なデータが、新しくなる展示室を、美濃加茂の文化を楽しめる工夫として登場する予定です。

どのような展示室になるのか、10月1日を心待ちにいただけたらと思います。

文化の森20周年記念 関連の催し

常設展示室が変わります!!

新しい展示資料が登場!!

常設展示に新しい展示資料も仲間入り。「!」や「?」をあちこちにちりばめて、わくわくする工夫をこらしています。

協賛企業 公益財団法人 十六地域振興財団

常設展示室「もようがえ」解説ツアー

10月1日(木) 13:30-15:00

■事前申し込み【9/27回まで】

■入場料：無料

*9月15日-9月30日までは展示替えのため、常設展示室が閉室となります。

20周年
セレモニー

とき 10月1日(木) 10:00

無料

ところ エントランスホール



ナイトミュージアム

20周年を記念して、
展示室の夜間開館を行います。

とき 10月3日(土)・10月4日(日)
(~20:30)

cafe ミエル
特別営業
9:00-20:30



20周年特別メニューが登場します!!
10月1日(木)~10月11日(日)

スイーツ ¥500

ドリンクセット ¥650

特別メニュー 17:00まで



事前申し込みについて | はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。 ■右のQRコードからもお申し込みできます。→



イベント minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
9/12(土)～ 2021.3/14(日)	収蔵品展 ていねいな暮らしと 道具展	民具展示館	無料	—	美濃加茂市はもとより近隣各地の方々から寄贈いただいた昔の道具を展示します。
9/19(土) 14:00 - 15:00	中止しました 第203回 森の朗読会	緑のホール	無料	60名	市民による朗読です。 作品:「あるはれたひに」 きむらゆういち/作 作品:「花豆の煮えるまで一一夜の物語」 あひなおこ 安房直子/作
10/17(土) 14:00 - 15:00	第203回 森の朗読会	緑のホール	無料	60名	市民による朗読です。 作品:「エンディングノート」 谷口雅美/作 『99のなみだ・旅』より 作品:「銀のデート」 石田衣良/作 『再生』より
11/18(水)～ 11/29(日) (最終日のみ13:00まで)	第65回 美濃加茂市美術展	企画展示室 美術工芸展示室 ほか	無料	—	市民公募による展覧会です。 日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門にわたって入賞入選作品を展示します。最終日は13:00までです。
11/21(土) 14:00 - 15:00	第204回 森の朗読会	緑のホール	無料	60名	市民による朗読です。 作品:「月はどこに消えた?」 近藤史恵/作 『ときどき旅に出るカフェ』より 作品:「電話家族」 加藤元/作 『ごめん』より
12/19(土) 14:00 - 15:00	第205回 森の朗読会	緑のホール	無料	60名	市民による朗読です。『1日10分のしあわせ』より 作品:「物件案内」 さかきつかさ 坂木司/作 作品:「鍋セット」 角田光代/作 作品:「バスに乗って」 重松清/作

アートな1日講座 minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
10/18(日) 13:00 - 14:30 15:00 - 16:30	陶芸	手びねりの技法またはろくろで簡単な器をつくります。出来上がった作品は、後日お渡しします。(送付の場合有料) 持ち物:エプロン、タオル	事前申し込み 【9/8(火)～9/29(火)】	陶芸室	1,000円	各回 8名
11/22(日) 13:00 - 16:00	フェルトで作ろう	ふわふわの羊毛フェルトを使って身に着けられるものを作しましょう。 持ち物:タオル	事前申し込み 【10/13(火)～11/3(火)】	工芸室	700円	15名
2021.1/24(日) 13:00 - 15:00	スワロフスキーのキーホルダー	スワロフスキーを使った本格的なアクセサリー作りをしましょう。 持ち物:拡大鏡	事前申し込み 【12/10(木)～12/24(木)】	工芸室	2,000円	8名
2021.2/10(水) 10:00 - 12:00	モザイクタイル	カラフルでかわいらしいタイルを使ってコースターを作しましょう。	事前申し込み 【12/15(火)～1/19(火)】	工芸室	600円	15名

ていねいな暮らし講座 minokamo city museum

生活体験ボランティアと一緒に、昔の暮らしを体験する講座です。生活体験館「まゆの家」で、ゆったりのんびり過ごしてみませんか。

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
11/14(土) 9:30 - 12:00	秋を染める	秋の草木でTシャツを染めます。 持ち物:白いTシャツ、エプロン	事前申し込み 【10/1(木)～10/18(日)】	生活体験館	300円	15名

年(中)行事 門松立て 12/12(土)～2021.1/6(水) かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立てます。 自由観覧 生活体験館「まゆの家」

minokamo city museum

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、みのかも文化の森は3/3(火)から臨時休館をし、6/2(火)から再開しました。* 休館中の約3か月、再開に向けての「力」をたくわえるため、文化の森がやっていたことをお伝えします。

*また、岐阜県のコロナ感染第2波非常事態の対策方針を受けて、8月1日以降臨時休館いたしました。

その1. 文化の森ホームページで『休館中ですが、「やっています」』配信!!

みのかも文化の森も含めてミュージアムは、展覧会やイベント・講座などの催し物が注目されますが、それ以外の世界はあまり知られていないと思います。地域にある資料を集めて守り、それを整理してデータベースを作り公開していくこと。それらをもとに調べたり専門的に研究したりすること。講座や子どもたちの学びのための教材、展示を伝えるためのツールを作ること。時間と手間はかかりますが、いずれもミュージアムにとって欠かせないことで、それがベースとなって様々な展示や催事へ結び付いていくのです。地味であり表に出てこない、「蓄積」の仕事とも言えるでしょう。

日々「やっている」できごとを、休館中の文化の森ホームページ「森の日記」で随時お伝えしました。

例えばこんな内容です。

4月25日(土)から始まるはずだった「楽しくなる古文書展」。残念ながら予定の会期での展示ができないことになりました。

休館中ですが開催に向けている準備を続けてきました。

古文書に書かれた文字を読み解くヒントのツール「古文書つみきバスル(明智光秀の巻①)」の試作品です。



学習係からはお子様向けの配信もしました。

みなさん元気ですか?文化の森は子どもたちの声が聞こえなくてとてもさみしいです。ステイホームしている子どもたちが、文化の森で活動している気持ちに少しでもなれるよう情報発信していきます。

今回は、2年生の生活科「春だ今日から2年生」の内容です。文化の森で春をさがしている気持ちになってね。

「木の木の芽。これからどんどん大きくなるので、ときどき紹介しますね。(4月10日撮影)」



右のQRコードから、ホームページ内の森の日記をご覧くださいませ。



右のQRコードから、ホームページ内の学校活用『休館中ですが、「やっています」ステイホームしている子どもたちへ』をご覧くださいませ。



その2. 新型コロナウイルス感染予防対策として、お客様に少しでも安心してご来館いただけるようにさまざまな対策を行いました。

- ① 出入り口を2つに制限し、出入り口に消毒液を設置
- ② お客様同士のソーシャルディスタンスを保てるよう、展示室や総合案内カウンター前、お手洗い前、エレベーター前などに、足形を設置
- ③ 総合案内カウンターに飛沫防止パネルを設置
- ④ 館内のベンチでは間隔を空けて座っていただくようポップを設置
- ⑤ 館内各所に、入館時のお願い(マスク着用、手指消毒、体調が優れない方には入館を控えていただくことなど)ポップを設置、ホームページのご案内
- ⑥ 1時間に1回の換気、定期的な消毒
- ⑦ 研修室や会議室などの定員減のため一部の椅子を撤去
- ⑧ 職員の健康チェックとマスク着用



入館の際にお客様に手指消毒していただき、館内ではソーシャルディスタンスを保っていただけるよう対策をとりました。

新型コロナウイルス感染症拡散防止により、以下のイベントを中止しました。

9月12,13日	森の音作り講座	※今年度の「四季を食べる講座」はすべて中止します。
9月12,13日	科学・社会科作品展	9月3日 このあたりの豆料理
9月12,13日	みのかも発明工夫展	9月19日 栗おこわ
9月12,13日	早稲田大学学生野外劇	10月1日 開館20周年記念 おはぎ
10月17日	まゆの家まつり	11月5日 手作りこんにやく
10月	木立に響く逍遙	12月3日 おせち料理
10月	円空仏に会える日	2021.1月16日 心を潤す乾物料理
10月	第17回 博学連携フォーラム	2021.2月20日 特別講座 そここみそ!
11月14,15日	第24回 朗読フェスティバル	
12月	美濃加茂市子ども展	

*今後の予定や定員も変更になる場合がありますので、電話でお問い合わせいただくか、文化の森のホームページでご確認ください。
*施設を利用される方は、手指消毒、マスク着用をお願いします。